

廃棄用滅菌バッグをご使用頂く際のご注意



廃棄用滅菌バッグなどの耐熱性のある袋状のものに被滅菌物を入れて滅菌する際は、以下の警告、注意事項をお守りください。

⚠ 警告

- ❗ **バッグは必ずステンレス金網カゴ、または底付金網カゴに入れてください。(図 1)**
バッグは金網カゴに 1 袋だけ入れ口を広げて入れてください。(図 1)
バッグを直に缶内に収納すると、缶壁の通気口を塞いでしまい、最悪は重大な破裂事故を招く恐れがあります。以下の安全装置は缶壁の通気口をふさがれてしまうと動作しなくなります。
 - 過圧防止装置 (缶内が異常圧になると警報表示され、ヒーター回路を遮断する)
 - 安全弁 (万一過圧防止装置が動作しない場合でも異常圧を感知して缶内圧を減圧する)
- ❌ **バッグを缶内に直に入れないでください。また、詰めすぎないでください。(図 2, 図 3)**
バッグを直に缶内に収納すると缶壁の通気口を塞いでしまい、安全装置が働かなくなる可能性があります。最悪は重大な破裂事故を招く恐れがあり、非常に危険です。
- ❗ **開いたバッグの口は必ず金網カゴの内側で折り返してください。(図 4, 図 5)**
バッグの口を金網カゴの外側で折り返すと、折り返した部分が缶壁の通気口を塞ぎ、安全装置が働かなくなる可能性があります。最悪は重大な破裂事故を招く恐れがあります。
- ❌ **バッグをフタに挟まないでください。**
蒸気漏れを引き起こすだけでなく、膨張したバッグが缶内で破裂し、最悪の場合火傷事故を招く恐れがあります。

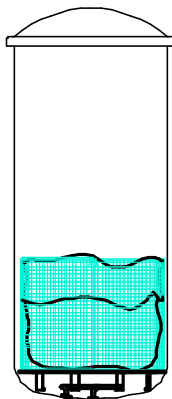
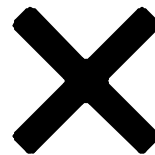
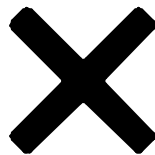
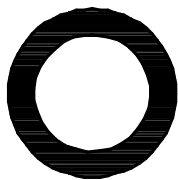


図 1

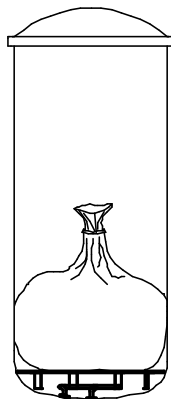


図 2



図 3

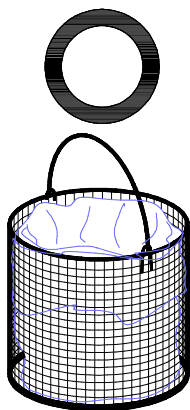


図 4

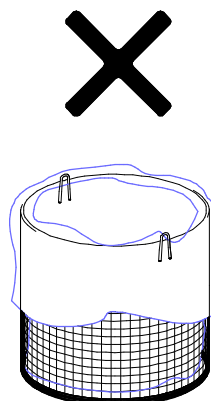


図 5

⚠️ 注意

- ❌ **バッグに被滅菌物を詰めすぎないでください。**
 折り返したバッグ容積の 60%程度の内容量にとどめてください。(図 6)
 多量に被滅菌物を詰めると蒸気の浸透が悪くなり、滅菌不良を引き起こします。加えて、残留空気が増えて缶内圧が余剰に上がり、安全装置が動作する可能性があります。
- ❗ **バッグの口は必ず開いてください。(図 6, 図 7)**
 バッグの口を閉じるとバッグ内の残留空気が熱の浸透を妨げ、滅菌不良を引き起こします。
 バイオハザード物質などの滅菌時にどうしてもバッグの口を閉じる必要がある場合は、口を軽く縛るか、ストロー状のものを挿してから縛るなど、必ず通気できるようにしてください。
- ❗ **確実な滅菌の為にバッグに 200ml 程度の水を入れてください。(図 6)**
 バッグ内の水が水蒸気となり被滅菌物の蒸気浸透を助けます。
- ❗ **熱収縮するシャーレやチューブ、注射針などの鋭利な物をバッグに入れる際は、バッグを当社指定の滅菌容器または底付金網カゴに入れて使用してください。**
 金網カゴだとバッグが破袋した際に被滅菌物がこぼれ出る可能性があります。
 溶けた樹脂類が缶底にこびり付き、故障する可能性があります。
- ❗ **運転前に缶内の水位を必ず確認し、不足している場合は補充してください。**
 水量が少ないバッグがヒーターからの熱を受けやすくなり、破袋、熱損する可能性があります。
 溶けた樹脂類が缶底にこびり付き、故障する可能性があります。
- ❗ **多量の廃棄物を滅菌する場合、設定温度を高く、または時間を長くしてください。**
 滅菌状態はバッグ内の被滅菌物の種類、量、滅菌温度、滅菌時間等によって変化します。
 ご使用される被滅菌物に合わせてケミカルインジケータなどで滅菌条件を確立されることをお勧めします。

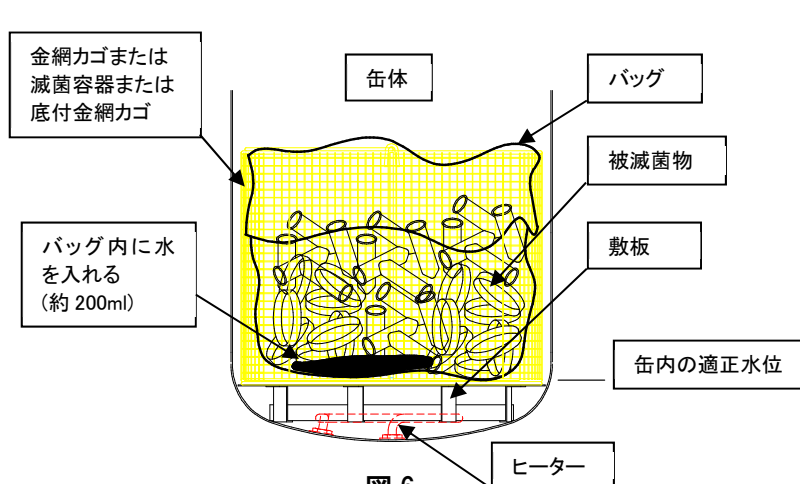


図 6
バッグの使用方法

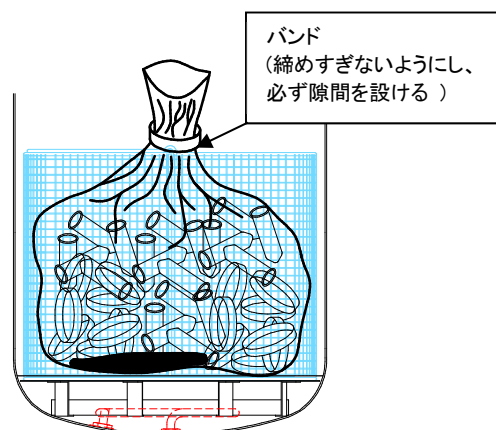


図 7
バイオハザード物質の滅菌など、どうしてもバッグの口を閉じる必要がある場合は、バンドで軽く縛るか、ストロー状の物を挿してから縛る。

滅菌容器をご使用頂く際のご注意

滅菌容器に被滅菌物を入れて滅菌する際は、以下の警告、注意事項をお守りください。

⚠警告

❗ **滅菌容器は、できるだけ缶体中央に設置してください。**

容器と缶壁の隙間が狭いと缶壁の通気口を塞いでしまい、最悪は重大な破裂事故を招く恐れがあります。

以下の安全装置は缶壁の通気口をふさがれてしまうと動作しなくなります。

- 過圧防止装置（缶内が異常圧になると警報表示され、ヒーター回路を遮断する）
- 安全弁（万一過圧防止装置が動作しない場合でも異常圧を感知して缶内圧を減圧する）

⚠注意

❌ **滅菌容器を重ねて使用しないでください。**

上段・下段の隙間が無いと、下段容器内の空気が抜けず、滅菌不良の原因となります。

❌ **リネンやガーゼ等、蒸気の浸透が難しいとされる物を詰め込み過ぎないでください。**

滅菌不良の原因となります。

❗ **滅菌容器の中に少量の水(200ml)を入れてください。**

容器内で水蒸気が発生し、より確実な滅菌が行われます。容器に水を入れずに滅菌する場合は、滅菌時間を長くする必要があります。

❗ **滅菌容器の中に、被滅菌物を詰め込み過ぎないようにしてください。**

容量の60%程度を目安にしてください。詰め過ぎますと滅菌不良の原因となります。

❗ **滅菌容器は容器内の空気が抜けにくい為、ステンレス金網カゴに比べて設定温度を高く、または時間を長くしてください。**

ご使用される被滅菌物に合わせてケミカルインジケータなどで滅菌条件を確立されることをお勧めします。

